

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,539	7.2	325	0.3	334	1.1	170	14.1
23年9月期第2四半期	2,367	6.2	324	1.6	331	2.8	149	△11.1

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 168百万円(12.9%) 23年9月期第2四半期 149百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	33.00	—
23年9月期第2四半期	28.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	4,602	3,464	73.0
23年9月期	4,381	3,361	74.2

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 3,359百万円 23年9月期 3,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	1.3	650	1.1	655	0.5	340	7.3	65.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年9月期2Q	5,255,000株	23年9月期	5,255,000株
24年9月期2Q	90,403株	23年9月期	48,703株
24年9月期2Q	5,180,333株	23年9月期2Q	5,206,389株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年3月31日）におけるわが国経済は、雇用情勢は依然として厳しく、企業収益の減少傾向が見られるなかで、一部に持ち直しの動きが見られるものの、海外の経済環境に留意する必要がある先行きは不透明な状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいとなっておりますが、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高は前年同四半期（平成22年10月1日～平成23年3月31日）と比べ増加傾向にあります。このような中、スマートフォンの急速な普及や次世代高速無線通信サービスの充実等、メディアの融合に向けた動きが加速してまいりました。携帯電話・スマートフォンにつきましては、当第2四半期連結累計期間末（平成24年3月末）にはインターネット接続の契約数が1億件を超えており、インターネット端末として広く浸透しております。

当社グループにおきましても、インターネットでの更なる事業展開の基盤を確立してまいりました。モバイル向けに提供いたしております各種「乗換案内」サービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト）の検索回数は平成24年3月には月間約1億8,000万回となっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,539,035千円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は325,229千円（前年同四半期比0.3%増）、経常利益は334,619千円（前年同四半期比1.1%増）、四半期純利益は170,972千円（前年同四半期比14.1%増）という経営成績となりました。

売上高につきましては、各セグメントにおいて売上高が増加しており、その結果、全体としても前年同四半期と比べ増加いたしました。営業利益につきましては、前年同四半期と比べ、乗換案内事業セグメント及びその他セグメントにおいては利益が増加しておりますが、マルチメディア事業セグメントの営業損失及びセグメントに配分していない費用等が増加しており、営業利益全体としては微増となりました。これにより、経常利益につきましても前年同四半期と比べ微増となっております。四半期純利益につきましては、前年同四半期に計上していた投資有価証券評価損がなくなったこと等の影響で、前年同四半期と比べ増加しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業は全体として、売上高・営業利益ともに前年同四半期と比べ増加いたしました。主な変動要因は以下のとおりであります。

モバイル向けの事業につきましては、モバイル向け有料サービスである「乗換案内NEXT」とスマートフォン向け有料版アプリケーション「乗換案内Plus」を合わせた会員数は、当第2四半期連結累計期間末には約53万人となっております。その結果、売上高は減少しておりますが、直近におきましては、フィーチャーフォンの会員数減少をスマートフォンの会員数増加が若干上回る傾向となっております。

「乗換案内」の法人向け製品の売上高につきましては、前年同四半期と比べ増加しております。これは主に、ASPサービスの「ジョルダンクラウド」の売上増加に加え、他社サービス向けの売上が順調に推移したことによるものであります。また、旅行関連事業につきましても、契約法人向けの取扱等が増加しており、売上高は前年同四半期と比べ増加しております。

以上の結果、乗換案内事業全体としては売上高1,991,328千円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益600,350千円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版につきましては、総合オピニオン誌『表現者』を発行しているほか、「ジョルダンブックス」として書籍を発売しております。当第2四半期連結累計期間においては『得する！スマホ研究所 モバイルSuica徹底活用術』等を新たに刊行しております。

またモバイル向けには、「アクセスBOOKS」「つかえるえもじ」「ゲーム★スター」等を提供しております。

それらの結果、全体として売上高は増加しております。一方で、スマートフォンへの対応のための開発費・広告宣伝費等の増加もあり、営業損失が増加しております。

以上の結果、売上高437,634千円（前年同四半期比10.7%増）、営業損失137,425千円（前年同四半期は107,222千円の損失）となりました。

（その他）

前連結会計年度から着手していた比較的大型のソフトウェア開発案件が完了したこと等により、前年同四半期と比べた売上高は増加しております。損益につきましては、前年同四半期においては営業損失が発生しておりましたが、当第2四半期連結累計期間においては営業利益を確保しております。

以上の結果、売上高140,653千円（前年同四半期比56.2%増）、営業利益33,100千円（前年同四半期は1,296千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及び内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成23年9月末）と比較しますと、資産は221,317千円増の4,602,366千円、負債は118,962千円増の1,138,143千円、純資産は102,354千円増の3,464,222千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、512,845千円増の3,615,708千円となりました。これは、現金及び預金が466,477千円増の2,456,102千円、受取手形及び売掛金が88,407千円増の1,013,709千円となったこと等の影響が、仕掛品が28,100千円減の896千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。受取手形及び売掛金の増加は、主に季節要因によります。仕掛品の減少は、主に前連結会計年度からの継続案件の完了によるものです。

固定資産につきましては、291,527千円減の986,658千円となりました。これは、有形固定資産が36,624千円減の187,077千円、無形固定資産が15,342千円増の295,143千円、投資その他の資産が270,245千円減の504,437千円となったことによるものです。有形固定資産が減少しているのは、主に償却が進んでいることによるものです。無形固定資産が増加しているのは、ソフトウェアが33,211千円増の222,159千円となったことの影響が、のれんが17,868千円減の71,475千円となったことの影響を上回ったことによるものです。ソフトウェアが増加しているのは、主に自社開発の市場販売目的のソフトウェアの取得によるものです。投資その他の資産が減少しているのは、前連結会計年度末にあった長期預金300,192千円がなくなったこと等の影響が、本社移転準備等に伴い敷金及び保証金が29,174千円増の227,489千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。

負債は、流動負債につきましては、58,298千円増の983,899千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が36,255千円増の339,201千円、未払費用が29,076千円増の140,399千円、未払法人税等が28,460千円増の174,719千円となったこと等の影響が、その他に含まれる未払金が51,388千円減の39千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。支払手形及び買掛金や未払費用の減少は、主に季節要因によります。その他に含まれる未払金が減少しているのは、主にサーバー等の工具、器具及び備品の購入代金の支払いによるものです。

固定負債につきましては、60,664千円増の154,244千円となりました。これは、連結子会社において新たに資金を借り入れたこと等に伴い、長期借入金が増加したことで、60,664千円増の143,844千円となったことによるものです。

純資産は、株主資本につきましては、108,987千円増の3,359,059千円となりました。これは、四半期純利益170,972千円が、剰余金の配当41,650千円を上回った影響で、利益剰余金が129,322千円増の2,841,724千円となったこと等によるものです。

少数株主持分につきましては、6,632千円減の105,163千円となりました。これは、一部の連結子会社において自己株式を取得したこと、及び少数株主損失の発生によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金および現金同等物は、前連結会計年度末と比べ464,045千円増の1,538,067千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは326,926千円の収入（前年同四半期比28.5%増）となりました。前年同四半期と比べての変動の要因は、税金等調整前四半期純利益が44,091千円増の327,201千円、たな卸資産の減少額が24,599千円（前年同四半期は増加額が738千円でその差25,338千円）、前受金の減少額が19,370千円減の22,786千円、その他に含まれる前払費用の減少額が14,059千円（前年同四半期は増加額が12,499千円でその差26,559千円）となった影響が、前年同四半期にあった投資有価証券評価損27,113千円がなくなり、売上債権の増加額が20,290千円増の88,407千円となった影響を上回ったこと等です。たな卸資産の減少額が増えた主要因は、仕掛品が減少していることです。その他に含まれる前払費用の減少額が増えた主要因は、前払いが必要な費用が減少していることです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは120,485千円の収入（前年同四半期は46,868千円の支出）となりました。前年同四半期と比べての変動の要因は、定期預金の預入による支出が604,329千円減の315,132千円となった影響が、定期預金の払戻による収入が308,788千円減の612,892千円、有形固定資産の取得による支出が51,129千円増の52,386千円となり、前年同四半期にあった子会社株式の売却による収入70,840千円がなくなった影響を上回ったこと等であります。定期預金の預入による支出及び定期預金の払戻による収入については、主に定期預金の満期による払戻及び再預入により発生しておりますが、前年同四半期と異なり当第2四半期連結累計期間においては一部を再預入していないため金額の差が生じております。有形固定資産の取得による支出は、主にサーバー等の工具、器具及び備品の購入に係る支払いによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは15,664千円の収入（前年同四半期は80,919千円の支出）となりました。前年同四半期と比べての変動の要因は、前年同四半期にはなかった長期借入れによる収入が110,000千円となったこと等です。長期借入れによる収入は、連結子会社において新たに資金を借り入れたことにより発生しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に変更はありません。

当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては業績予想をやや上回っておりますが、継続案件が売上計上に至ったこと等一時的な要因もあり、通期の業績予想は据え置きとしております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,624	2,456,102
受取手形及び売掛金	925,302	1,013,709
商品及び製品	6,303	9,931
仕掛品	28,996	896
原材料及び貯蔵品	403	276
繰延税金資産	80,965	79,971
その他	92,192	76,561
貸倒引当金	△20,926	△21,740
流動資産合計	3,102,863	3,615,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,313	44,063
機械装置及び運搬具（純額）	1,734	1,414
工具、器具及び備品（純額）	118,253	91,199
土地	50,400	50,400
有形固定資産合計	223,701	187,077
無形固定資産		
のれん	89,344	71,475
ソフトウェア	188,948	222,159
その他	1,508	1,508
無形固定資産合計	279,801	295,143
投資その他の資産		
投資有価証券	220,875	220,276
敷金及び保証金	198,315	227,489
長期滞留債権	4,760	4,619
長期預金	300,192	—
繰延税金資産	38,897	42,769
その他	16,226	13,730
貸倒引当金	△4,584	△4,449
投資その他の資産合計	774,682	504,437
固定資産合計	1,278,186	986,658
資産合計	4,381,049	4,602,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,945	339,201
1年内返済予定の長期借入金	45,865	69,064
未払費用	111,322	140,399
未払法人税等	146,259	174,719
未払消費税等	9,323	19,690
賞与引当金	52,570	49,080
役員賞与引当金	8,300	4,000
返品調整引当金	3,283	2,124
ポイント引当金	25,480	27,950
その他	220,252	157,671
流動負債合計	925,601	983,899
固定負債		
長期借入金	83,180	143,844
その他	10,400	10,400
固定負債合計	93,580	154,244
負債合計	1,019,181	1,138,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	284,375	284,375
利益剰余金	2,712,401	2,841,724
自己株式	△24,079	△44,415
株主資本合計	3,250,072	3,359,059
少数株主持分	111,795	105,163
純資産合計	3,361,867	3,464,222
負債純資産合計	4,381,049	4,602,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,367,644	2,539,035
売上原価	1,065,557	1,226,280
売上総利益	1,302,087	1,312,755
返品調整引当金戻入額	4,823	3,283
返品調整引当金繰入額	2,034	2,124
差引売上総利益	1,304,876	1,313,914
販売費及び一般管理費	980,702	988,684
営業利益	324,174	325,229
営業外収益		
受取利息	380	227
受取配当金	52	65
為替差益	—	1,228
助成金収入	—	7,920
雑収入	8,401	894
営業外収益合計	8,833	10,335
営業外費用		
支払利息	877	831
為替差損	274	—
雑損失	841	114
営業外費用合計	1,993	945
経常利益	331,015	334,619
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,550
投資有価証券売却益	—	1,000
特別利益合計	—	2,550
特別損失		
固定資産除却損	4,062	5,866
子会社株式売却損	306	—
子会社株式評価損	15,000	—
関連会社株式評価損	—	4,102
投資有価証券評価損	27,113	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,424	—
特別損失合計	47,905	9,968
税金等調整前四半期純利益	283,109	327,201
法人税等合計	133,477	158,310
少数株主損益調整前四半期純利益	149,632	168,890
少数株主損失(△)	△236	△2,082
四半期純利益	149,868	170,972

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	149,632	168,890
四半期包括利益	149,632	168,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,868	170,972
少数株主に係る四半期包括利益	△236	△2,082

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	283,109	327,201
減価償却費	75,095	81,218
のれん償却額	35,632	17,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△385	679
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△2,789	△1,159
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	19,400	2,470
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,675	△3,490
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,752	△4,300
受取利息及び受取配当金	△432	△292
支払利息	877	831
売上債権の増減額 (△は増加)	△68,116	△88,407
前受金の増減額 (△は減少)	△42,156	△22,786
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△738	24,599
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,751	37,224
前渡金の増減額 (△は増加)	9,405	5,500
未払費用の増減額 (△は減少)	37,523	29,076
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△319	7,873
投資有価証券評価損益 (△は益)	27,113	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,000
関係会社株式評価損	—	4,102
負ののれん発生益	—	△1,550
その他	13,125	47,228
小計	404,667	462,889
利息及び配当金の受取額	432	292
利息の支払額	△877	△831
法人税等の還付額	1,642	59
法人税等の支払額	△151,368	△135,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,496	326,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△919,462	△315,132
定期預金の払戻による収入	921,680	612,892
有形固定資産の取得による支出	△1,257	△52,386
無形固定資産の取得による支出	△66,545	△83,606
投資有価証券の取得による支出	△15,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	4,500
関係会社株式の取得による支出	—	△7,003
子会社株式の取得による支出	△30,000	—
子会社株式の売却による収入	70,840	—
短期貸付けによる支出	△5,000	△5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△3,624	△33,778
敷金及び保証金の回収による収入	1,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,868	120,485

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	110,000
長期借入金の返済による支出	△41,248	△26,137
リース債務の返済による支出	△1,449	△665
配当金の支払額	△41,222	△41,435
少数株主への配当金の支払額	—	△2,762
少数株主からの払込みによる収入	3,000	—
自己株式の取得による支出	—	△20,335
子会社の自己株式の取得による支出	—	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,919	15,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126,598	464,045
現金及び現金同等物の期首残高	727,002	1,074,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	853,600	1,538,067

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,918,017	395,398	2,313,415	54,229	—	2,367,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	—	185	35,844	△36,029	—
計	1,918,202	395,398	2,313,600	90,074	△36,029	2,367,644
セグメント利益 又は損失(△)	579,179	△107,222	471,957	△1,296	△146,486	324,174

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,486千円には、のれん償却額△20,632千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,854千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,991,288	437,634	2,428,922	110,112	—	2,539,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	—	40	30,540	△30,580	—
計	1,991,328	437,634	2,428,963	140,653	△30,580	2,539,035
セグメント利益 又は損失(△)	600,350	△137,425	462,924	33,100	△170,795	325,229

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,795千円には、のれん償却額△17,868千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△152,926千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年11月14日開催の取締役会決議に基づき、平成23年11月17日から平成23年12月16日の期間において、市場買付により41,700株、20,335千円の自己株式を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式数は90,403株となっています。